

技術開発実施報告

様式 2

沖縄 営林署

課題	亜熱帯性広葉樹天然林の施業方法について。					
(継続) 新規	担	造林課	開発箇所	沖縄	開発期間	昭和61年度 ～ 平成7年度
指示・(自主) 任意	当		開発箇所		開発期間	
年度別実施経過			〃年度 実施報告			
年度別実施経過			1. 隔年調査のため今年度の調査なし			

技術開発実施報告

様式 2

沖 縄 宮林署

課題	亜熱帯性広葉樹天然林の施業方法について						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 指示 <input checked="" type="checkbox"/> 自主 <input type="checkbox"/> 任意	担 当	造林課	開発箇所	沖 縄	開発期間	昭和61年度 ～ 平成7年度	
年度別実施経過				4年度 実施報告			
(平成2年度) 昭和61年度及び昭和63年度追打 設定箇所林分調査 (1) 相対照度調査 (2) 樹種別林分調査 (平成3年度) 隔年毎の調査のため3年度の調査 はなし。				1 昭和63年度設定箇所林分調査 (1) 樹種別林分調査 2 箇所 平良国有林 1㍑林小班			

試験経過記録

区分 自主

沖縄 営林署

(様式4)

全調査木の項目別調査結果

[成長量]

[設定後を100とした時の比率]

(平均胸高直径) 単位：m

試験区	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	6.3	6.3	6.7	6.9
中度除伐	5.6	6.0	6.4	6.5
強度除伐	5.4	6.6	6.9	7.1
対照区	5.5	5.5	5.8	5.9

(平均胸高直径) 単位：%

平均径級	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	100.0	100.0	106.3	109.5
中度除伐	93.3	100.0	106.7	108.3
強度除伐	81.8	100.0	104.5	107.6
対照区	100.0	100.0	105.5	107.3

(平均樹高) 単位：m

試験区	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	5.7	6.1	6.5	6.6
中度除伐	5.0	5.3	5.9	6.2
強度除伐	5.4	5.6	6.2	6.3
対照区	5.5	5.5	6.1	6.2

(平均樹高) 単位：%

平均径級	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	93.4	100.0	106.6	108.2
中度除伐	94.3	100.0	111.3	117.0
強度除伐	96.4	100.0	110.7	112.5
対照区	100.0	100.0	110.9	112.7

(材積) 単位：m³

試験区	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	4.46	4.33	4.80	4.93
中度除伐	3.55	3.18	3.84	3.97
強度除伐	3.63	3.26	3.82	3.87
対照区	4.04	4.04	4.73	4.77

(材積) 単位：%

平均径級	S. 63(前)	S. 63(後)	H. 2	H. 4
弱度除伐	103.1	100.0	111.1	113.9
中度除伐	111.9	100.0	121.0	125.0
強度除伐	111.4	100.0	117.3	118.8
対照区	100.0	100.0	117.0	118.0

調査結果

- (1) 設定後4年を経過したところでは、樹高成長、材積成長について、中度区へ成長が、やや良好。これに続いて、強度区がやや良好な結果となった。
- (2) 胸高直径成長では、弱度、中度、強度、対照区へ順となった。

考察

- (1) 除伐実行前林分については、中度区、強度区が、樹高、材積ともに、低位な林分であったことから考えると、中度、強度除伐区に除伐効果が認められる傾向にある。
- 除伐実行の得点については、長期的な調査を要するものと考えられる。

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

沖 縄 宮 林 署

(様 式 6)

(弱 度 除 伐 区)



(強 度 除 伐 区)



(中 度 除 伐 区)



(対 照 区)



技術開発実施報告

様式 2

沖 縄 営 林 署

課題	亜熱帯性広葉樹天然林の施業方法に関する					
継続・新規	担	経営係長	開発箇所	沖縄	開発期間	昭和61 —平成7
指示・ <u>自主</u> 任意	当		開発箇所	沖縄	開発期間	昭和61 —平成7
← 年 度 別 実 施 経 過			↓ 年 度 実 施 報 告			
(この欄は斜線が入っています)			隔年調査のため平成5年度実績なし			

技術開発実施報告

様式 2

沖縄 営林署

課題	亜熱帯性広葉樹天然林の施業方法について					
<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	担		開		開	昭和 61
<input type="radio"/> 指示 <input checked="" type="radio"/> 自主 任意	当		発	沖 縄	発	~ 平成 10
			箇		期	
			所		間	
年度別実施経過			6 年度 実施報告			
<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; transform: rotate(-45deg);"></div>			1. 昭和 63 年度 設定箇所 林分調査 (1) 樹種別 林分調査 (2) 場所 平良 国有林 11 林小班			

試 験 経 過 記 録

全 調 査 木 の 項 目 別 調 査 結 果

[成 長 量]

[設定後を100とした時の比率]

(平均胸高直径) 単位：cm

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	6.3	6.3	6.7	6.9	7.0
中度除伐	5.6	6.0	6.4	6.5	6.6
強度除伐	5.4	6.6	6.9	7.1	7.6
対照区	5.5	5.5	5.8	5.9	6.4

(平均胸高直径) 単位：%

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	100.0	100.0	106.3	109.5	111.1
中度除伐	93.3	100.0	106.7	108.3	110.0
強度除伐	81.8	100.0	104.5	107.6	115.2
対照区	100.0	100.0	105.5	107.3	116.4

(平均樹高) 単位：m

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	5.7	6.1	6.5	6.6	6.6
中度除伐	5.0	5.3	5.9	6.2	6.2
強度除伐	5.4	5.6	6.2	6.3	6.4
対照区	5.5	5.5	6.1	6.2	6.2

(平均樹高) 単位：%

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	93.4	100.0	106.6	108.2	108.2
中度除伐	94.3	100.0	111.3	117.0	117.0
強度除伐	96.4	100.0	110.7	112.5	114.3
対照区	100.0	100.0	110.9	112.7	112.7

(材積) 単位：m³

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	4.46	4.33	4.80	4.93	4.81
中度除伐	3.55	3.18	3.84	3.97	3.95
強度除伐	3.63	3.26	3.82	3.87	4.24
対照区	4.04	4.04	4.73	4.77	5.31

(材積) 単位：%

試験区	S.63 (前)	S.63 (後)	H. 2	H. 4	H. 6
弱度除伐	103.0	100.0	110.9	113.9	111.1
中度除伐	111.6	100.0	120.8	124.8	124.2
強度除伐	111.3	100.0	117.2	118.7	130.1
対照区	100.0	100.0	117.1	118.1	131.4

調 査 結 果

- (1) 設定後6年を経過したところでは、相次ぐ台風の影響で切損や枯損等があり、2年前に比較して樹高の成長が全体的に抑制されている。一部強度除伐区で成長がみられる。設定当初から見れば中度除伐区の成長率が高い。
- (2) 胸高直径と材積は2年前に比較して対照区と強度除伐区に著しい成長が表れ、設定時からしても伸びてきている。現時点では着葉量や樹木の色ツヤに表れている様に対照区に活性化がみられる。

考 察

- (1) 今回、対照区と強度除伐区で成長の傾向が大きかったのは、施業方法によるものかどうか判断出来ないが、地形や乾燥・風・日照等の自然条件が大きく関与しているものと思われ、亜熱帯の天然林における施業方法の体系化を難しくしている。